



令和8年度7月号（8月31日発行）

渋谷区立広尾中学校 学校だより

『若木の丘』

広尾中学校ホームページ

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320118>



教育目標

- ・自らの頭で考える生徒の育成
- ・自分の人生をデザインできる生徒の育成
- ・変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

『青山キャンパス移転1年経過と現在の状況』

校長 川上 弘文

相変わらず連日の猛暑となっており、台風や線状降水帯が複数発生した夏休みとなりました。令和8年熊本地震で被害に遭われた方々、令和8年8月千葉豪雨で被害に遭われた方々に御見舞い申し上げます。残暑に加え、不安定な天候が続いていますが、44日間の夏季休業日が終わり、8月31日（月）から夏季休業明けの授業が始まりました。保護者の皆様におかれましては、夏季休業中、各御家庭でのお子様の健全育成に御協力いただきありがとうございました。

早くも青山キャンパスに移転して1年が経過しようとしています。旧校舎での思い出や1年前の学校移転作業、生徒の青山キャンパス初登校、松濤中とともにに行った開校式を懐かしむとともに、1年間の早さを実感します。また、8月31日から神南小学校が青山キャンパスで共に生活を始めます。小学校低学年の児童から見ると中学生はとても大きな「大人」に見えることと思います。ぜひ小学生の模範となる中学生であってほしいと思います。

さて、夏休み前の全校集会では、4月以降の各学年のがんばりを称えつつも、一部落ち着かない授業態度、生活態度が散見されたことから、校長及び副校長から生徒に対して苦言を呈した場面がありました。そこで、私が学校経営方針に記載している「教員が教壇に立ち授業及び教育活動を行うに当たり次の基準を常に念頭に置くものとする」の5項目を生徒用に置き換えて引用します。

①自分や友達のためであるか→：自分の言動が周囲を傷つけ、悩ませていませんか。

②保護者・地域の願いであるか→：自分の言動で保護者や地域の方を悩ませたり迷惑をかけていませんか。

③生徒として法に則っているか→：先生への暴言、友達へのいじめ、盗撮行為は絶対に許されません。

④社会通念上、常識の範囲内であるか→：例えば授業時間にどうしてもトイレに行きたく、短時間授業を抜けるのは社会通念上許されます。しかし、授業中にもかかわらず複数名でトイレに行く、長時間授業に戻らない、トイレで騒ぐ等は常識の範囲を超えています。

⑤生徒として向上心を持っているか、生徒同士協力ができているか→：先生によって授業態度を変えて騒いだり離席することがあってはいけません。がんばっている友達をからかったり、ばかにするようなことがあってはいけません。生徒の皆さんは、4月からの生活の中で上記①から⑤にあてはなるようなことがなかったか思い返してください。広尾中の先生方は、引き続き生徒の皆さんの良さを見つけ、伸ばすことができるように支援していきますが、甘やかしたり、わがままを聞くわけではありません。場合によっては保護者の方に協力を仰ぐこともあるかもしれません。生徒を学校と家庭の両輪で支えていけるようよろしくお願いいたします。

今後の予定では、9月25日（金）に、区陸（渋谷区立中学校陸上競技大会）が予定されています。今年度は国立競技場が会場となります。本校では、区陸に向けて、7月から希望生徒による練習会を実施し、多くの生徒が大会出場権獲得と記録の向上を目指し練習に励んでいます。9月に入ると練習も更に本格化し、応援練習も力が入ってきます。今年も「チーム広尾」として全力で取り組みましょう！

また、夏季休業中の7月30日には有志合唱生徒が、府中芸術の森どりーむホールにおいて開催されたNコン（NHK全国音楽コンクール）に出場しました。貴重な昼休みを使って練習を重ねてきたことに敬意を表するとともに、中学校連合音楽会・若木祭での発表も楽しみにしています。

9、10月の主な行事予定

今月の 予定	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
9月				前期期末考査	前期期末考査	前期期末考査 専門委員会	
	6	7	8	9	10	11	12
		到達確認テスト(3) 区陸放課後練習	学年朝礼 避難訓練(3校合同) 区陸放課後練習	職員会議	区陸午後練習	中央委員会 区陸放課後練習	
	13	14	15	16	17	18	19
		区陸放課後練習	期末考査個人成績表配布 区陸放課後練習 生徒会役員選挙リハーサル	浜中研 4時間授業 TLD	生徒会役員選挙 区陸放課後練習	期末考査個人成績表 回収締切 区陸放課後練習	土曜日授業(3時間) 学校公開 学校説明会 区陸午後練習
	20	21	22	23	24	25	26
		敬老の日	国民の休日	秋分の日	区陸壮行会 区陸放課後練習 区陸選手前日指導	区立中学校陸 上競技大会	
	27	28	29	30			
			生徒会朝礼				

来月の 予定	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
10月					都民の日 専門委員会(後 期初回)	避難訓練 英語検定②	
	4	5	6	7	8	9	10
		4時間授業 第2回保護者会 第2回進路説明会	マイプロセミ ブレゼン 中央委員会	終業式 3時間授業(給食なし) 職員会議 TLD	秋季休業日(始) 学校閉庁日連 合音楽会	秋季休業日(終) 学校閉庁日 中高連携体験授業(3)	数学検定②
	11	12	13	14	15	16	17
		スポーツの日	後期始業式 任命式 安全指導学 級討議	浜中研(一斉授業) 4時間授業 TLD			
	18	19	20	21	22	23	24
	漢字検定②	生徒会朝礼 成績一覧表予備 調査		若木祭全校リハ		若木祭前日準備	若木祭舞台発 表の部
	25	26	27	28	29	30	31
		振替休日	学年朝礼 専門委員会	中央委員会	三者面談(3)	三者面談(3)	

防災お泊まりキャンプを終えて～成果と課題から見えた広尾中学校の今とこれから～

今年度の防災お泊まりキャンプについて、おやじの会、防災課、PTA、保護者の皆様から多くの振り返りやご意見をいただきました。副校長としてその内容を拝見し、行事の成果だけでなく、本校生徒の実態や今後の課題も改めて見えてきました。今回は、その一部を地域・保護者の皆様と共有したいと思います。



生徒たちの可能性を強く感じた二日間

今年度の防災お泊まりキャンプでは、防災ラリーや炊き出し、テントでの避難所宿泊など、楽しみながら防災と仲間との協働を学ぶ機会となりました。特にテント設営では、防災課から、実際の避難所では通路の確保や見回りのために整然と配置することが大切だと教えていただき、その意味を理解した生徒たちは、互いに声を掛け合い、短時間で整然とした避難所空間をつくり上げたとのこと。学校、おやじの会、防災課、PTA、保護者の皆様が一つのチームとして行事を支えてくださったことも、大きな成果となりました。



本校生徒の実態として見えてきたこと

一方、宿泊を伴う行事だからこそ、今後の課題も見えてきました。就寝後には「暗い体育館内を走り回る、大声を出す、寝ている生徒を起こす、パーティション内へ物を投げ入れるという行動」が見られ、「体育倉庫でサッカーを始める生徒や、体育館外へ出ようとする生徒」がいたとのこと。また、食事の場面では「一部の生徒が配布用のペットボトルを箱ごと持ち去ろうとする様子」も見られたようです。片付けでは、自ら進んで動く生徒がいる一方、指示を待つ姿があったとのこと。これらを単なるルール違反として終わらせず、安全への意識、他者への配慮、限られた物資を分け合う心、自ら役割を見つけて行動する力を育てる機会として捉えていきたいと考えます（夏季休業明け指導で実施）。



これからに向けて

今回の体験から、生徒たちは「なぜそうするのか」という意味や目的を理解したとき、期待以上の力を発揮できることを改めて実感しました。今後は、ルールを守るよう伝えるだけでなく、その必要性を共に考え、自ら判断して行動できる力を育む防災教育をさらに充実させます。夏季休業中だけでも日本各地で様々な災害が起こりました。これらの経験を次年度へつなぎ、学校・家庭・地域が連携しながら、「自分のため、友達のため、そして地域のために行動できる生徒」の育成に取り組んでいきたいと考えます。



最後に

本行事の企画・運営にご尽力いただいたおやじの会の皆様をはじめ、渋谷区防災課、PTA、保護者や地域の皆様など、ご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

